



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

No.55

2022年3月号

ネット通信 花 便 り



## 目次

園芸福祉の庭を春色に植え替えました!	P2~P3
一人一花ハッスル事業 2021 企画・実施しました。	P4~P5
園芸福祉体験事業、花育活動等の報告レポート	P6~P7
一人一花サミットハーブ香る「スワッグ風 しめ縄り」報告	P8
市役所玄関前花壇 2022 年一人一花おもてなし	P8
事務局からのお知らせ	P9



園芸福祉の庭を春色に植え替えました!

アイランドシティ中央公園内、園芸福祉の庭・各テーマ花壇を春色の花に植え替えました。花壇担当会員の花壇作りのポイントや工夫した点、植える時に気をつけたことなどをご紹介します。

【子どもたちも一緒に楽しむ花壇】 黒瀬 恵子

【タイトル】デコレーションケーキ

【コンセプト】

コロナ禍での生活が長く続く中、少しでも子どもたちに楽しんでもらおうと、子どもたちも大好きなデコレーションケーキをつくりました。

【工夫したところ】

使用済みの杭を公園の管理事務所より提供していただき、杭をクッキーに見立ててケーキの土台をつくりました。プレートを変えることで、クリスマスケーキ、お正月のお祝いケーキ、バースデーケーキとして楽しめるようにしました。

【最後に】

このデコレーションケーキは、副代表の沖本さんとアイデアを出し合いながら、手先の器用な谷口元代表にも協力していただき、みんなで楽しみながらつくりました。

デコレーションケーキの花壇は、アイランドシティ中央公園のホームページに掲載され、FM 福岡の番組「あつまれ！！アイランドシティ中央公園」の中でも取り上げていただきました。

コロナ禍で、子どもたちと直接触れ合うことが難しい中、離れていてもデコレーションケーキの花壇を通して、子どもたちも一緒に楽しんでもらえたら良いなと思っています。

担当/黒瀬 恵子、沖本 圓



花がら摘み等花壇管理の様子



【車椅子利用の人たちと一緒に楽しむ花壇】

須賀 陽子

レイズドベッド 2 基の花植えを吉松 里美さんと須賀 陽子が行いました。花苗の種類は金魚草とビオラ、花色は暖色系・黄色と、寒色系・紫色の苗を植えました。車椅子利用の方や小さなお子さんに楽しんでいただけるようにビオラの花向きは外側に向けました。水やり後は、花苗の根鉢がちゃんと土の中に植わっているかをチェックして花植え作業終了です。

担当/須賀 陽子、吉松 里美



高齢者の人たちと一緒に楽しむ花壇



高く伸びた木や宿根草を掘り起こし、リフレッシュ！明るい花壇に蘇りました。



円形花壇

山道をイメージしました。小径の左右に咲く色鮮やかな葉牡丹、寄り添うような金魚草とビオラ。もうすぐ愛らしいシラーやムスカリの花にも会えます♪  
担当/米倉 治美

【視覚に障がい者のある人たちと一緒に楽しむ花壇】

二俣 はるみ

シンプルで色彩がはっきりとした春の花壇を作りました。前に担当された米倉さんの煉瓦のデザインをそのまま使って、手前にビオラのピンク系、中央はスイートアリッサムの白、奥がビオラの青色と黄色の2種類でハッキリとコントラストをつけました。立体感に欠けるようですがチューリップの時期になると花々の間に沢山の赤いチューリップが咲きます。大きく伸びてきたら、少しは賑やかになると思います。花色で春を、ミント等のハーブで香りを、竹風鈴で風を感じられる花壇になったと思います。

担当/二俣 はるみ、諫山 みどり



ストレスを解消する花壇

花の高低差、花の彩りが調和された花壇に仕上がりました。春にチューリップが咲くのが楽しみです！  
担当/米倉 治美





◆主催 一人一花ハッスル事業 アイランド中央公園・園芸福祉ふくおかネット共同企画

## 一人一花ハッスル事業 2021



園芸福祉ふくおかネットは「みんなで笑顔になりましょう！」をテーマに花・緑とふれあいながら、楽しい時間を過ごしていただける3つの勉強会や講座を企画・実施しました。

◆つるバラの剪定と誘引の講習会をしました。

2021年12月12日(日)開催の勉強会にバラ好き13名の方が参加。前半は会場のスクリーンを観ながらバラの育て方や剪定の仕方、管理の仕方などを学びました。その後、園内に移動して講師 吉田博美氏からバラの剪定、誘引の仕方など実践をしながら丁寧に教えていただきました。参加された皆さんは説明をメモったり、講師の手元を真剣な眼差しで見入っていました。



講師 吉田 博美 氏 (アイランドシティ中央公園・緑の相談員)

## Profile

福岡県職員として28年間花の栽培指導や花の消費拡大に従事。15年前からご自宅のお庭を拠点に花を楽しんでもらうオープンガーデンや市民花壇の手入れ、宗像市の花カノユリの普及、草花・バラの講習会や園芸相談等、生活の中に花を取り入れるための普及活動に多忙な日々を過ごされています。

## つるバラの剪定と誘引に参加して 北野 多美子

我が家の庭にもバラを何本か植えています。ただ手入れをしていないので、伸び放題のためフェンスからはみ出しており、一発奮闘の剪定をするためこの講座に参加しました。①つるバラの剪定・誘引は12月中旬から1月末までに。剪定が思いのほかバツサリ→何故なら花が咲かない枝は残しておいても仕方がないから。

②葉もゴツリ取り除く→冬に休眠させるため。

※皮手袋を着用して親指と人差し指でバラの枝を挟んで一気にダーッと葉を落とされていました。誘引は枝同士が重ならないように。冬の間は剪定と誘引を行うのは春に美しい姿で花を咲かせる大きなポイントです。

## 講座で学んだことを実践中!! 山崎 博子

3年前、病院ボランティア花壇に10本のバラの苗を植え立派な花が咲き感激、魅了されました。でも翌年は毛虫に悩まされ何人か刺されてしまう、黒点病で葉が黒くなり落ちる、つるは伸び放題。やっぱりバラ育ては、大変だと思った。

そんな時、吉田先生の「つるバラの剪定と誘引講習会」を受講しました。前半は座学、後半は庭に出て実習、最初はパーゴラからツル外し、葉をむしり赤芽が出ているすぐ上で切る。細い枝はカット。花がどのように咲くか想像しながらアーチに誘引していく。バラの性質を知り丁寧に仕事をすることを学びました。アーチに誘引されたバラの姿が芸術的に綺麗だったことがとても印象的でした。

現在、講座で学んだことを実践中!!です。

